

当社は、アルカリ化療法剤「ウラリット」を開発し、長年、高尿酸血症の治療意義の啓発活動に努めてまいりました。近年、高尿酸血症は単なる痛風の前段階としての認識から、メタボリックシンドロームや心血管イベントへの関わりにフォーカスに移りつつあり、あらためて注目を集めている疾患です。当社は、引き続きこれらの活動を通じて患者さんのQOL（Quality of Life）向上に貢献し、高尿酸血症領域のフロントランナーを目指して取り組んでまいります。

## 1. 啓発活動

### (1) 研究会を通じた取り組み

2004年に「高尿酸血症・メタボリックシンドロームリサーチフォーラム」が設立された当初から、同研究集会を共催しております。

### (2) Web サイトを通じた取り組み

高尿酸血症・痛風に関する総合情報サイトを開設し、患者さん向けと医療関係者向けの2つのサイトを用いて、それぞれのニーズに合った情報提供を行っています。患者さん向けの「痛風ナビ」では、ニーズの高い食事療法に関し、「技あり！ヘルシーレシピ」というコンテンツにおいて、食

材選びや調理法、バランスの良い組み合わせなど食事療法のポイントとともにレシピの紹介を行っております。



HP上に開設しているレシピサイトと痛風ナビ

## 2. 市場拡大に向けた取り組み

これまで実施してきた痛風ならびに高尿酸血症における酸塩基平衡改善の重要性の啓発活動に加え、近年、高尿酸血症や代謝性アシドーシスが慢性腎臓病を進展させること、アシドーシスに対するアルカリ化療法による慢性腎臓病の進展抑制・効果などの報告が増加していることを踏まえ、アルカリ化療法剤投与の重要性に関する普及活動を強化しています。

加えて、当社は同領域の新薬開発にも力を入れており、現在、作用機序の異なる2つの尿酸降下薬、NC-2500およびNC-2700の開発を進めております。

## ウラリットについて

生体内の尿酸は主に尿により体外に排泄されますが、高尿酸血症や痛風の患者さんでは、尿が酸性に傾く「酸性尿」になることが少なくありません。尿を酸性尿のままにしておくと、尿に尿酸が溶けきれず、腎臓に沈着しやすい状態になることから、腎機能低下や、尿路結石が生じやすくなるといわれています。ウラリットは酸性尿を改善する「アルカリ化療法剤」として当社が1988年に発売した薬剤であり、約30年にわたって酸性尿改善およびアルカリ化療法の啓発に努めてまいりました。現在、各地で進められている、アルカリ化療法に関する臨床研究の成果を活かし、今後も活躍の場を拡大させていきたいと考えています。



ウラリット製品キャラクターのうらりん(左)、うらいむ(右)